



2019年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年5月13日

上場会社名 (株)アルバック 上場取引所 東
 コード番号 6728 URL <https://www.ulvac.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 岩下 節生
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員IR室長 (氏名) 梅田 彰 TEL 0467-89-2033
 四半期報告書提出予定日 2019年5月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (国内機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2019年6月期第3四半期の連結業績（2018年7月1日～2019年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年6月期第3四半期	168,897	△11.2	21,929	△26.4	23,138	△25.6	17,272	△31.7
2018年6月期第3四半期	190,164	10.3	29,807	28.5	31,108	32.6	25,307	41.3

(注) 包括利益 2019年6月期第3四半期 9,062百万円 (△76.6%) 2018年6月期第3四半期 38,761百万円 (66.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年6月期第3四半期	350.51	—
2018年6月期第3四半期	513.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年6月期第3四半期	295,066	157,227	51.1
2018年6月期	297,418	154,069	49.6

(参考) 自己資本 2019年6月期第3四半期 150,743百万円 2018年6月期 147,531百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年6月期	—	—	—	95.00	95.00
2019年6月期	—	—	—	—	—
2019年6月期（予想）	—	—	—	105.00	105.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年6月期の連結業績予想（2018年7月1日～2019年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	225,000	△9.7	23,500	△33.5	25,000	△32.3	17,500	△51.3	355.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
特定子会社以外の子会社の異動につきましては、以下のとおりであります。

除外 1社（社名 寧波愛発科真空技術有限公司）

第2四半期連結会計期間において、寧波愛発科真空技術有限公司の第三者割当増資により当社の持分比率が低下したため、同社を連結の範囲から除外し、持分法適用の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年6月期3Q	49,355,938株	2018年6月期	49,355,938株
② 期末自己株式数	2019年6月期3Q	76,792株	2018年6月期	82,336株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年6月期3Q	49,277,300株	2018年6月期3Q	49,272,771株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報)	11
3. 補足情報	12
(1) 販売実績	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	2018年6月期第3四半期 連結累計期間	2019年6月期第3四半期 連結累計期間	前年同期比(増減率)
受注高	195,231	173,638	△11.1%
売上高	190,164	168,897	△11.2%
営業利益	29,807	21,929	△26.4%
経常利益	31,108	23,138	△25.6%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	25,307	17,272	△31.7%

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や生産の一部に弱さもみられるものの設備投資が増加するなど、緩やかに回復してきました。米国では、個人消費や設備投資の増加などにより景気の回復が続いてきました。欧州では、消費が緩やかに増加するなど、景気は緩やかに回復してきました。中国では、各種政策効果もあり景気の持ち直しの動きが続いてきましたが、このところ消費、輸出の伸びが低下するなど緩やかに減速してまいりました。

当社グループを取り巻くエレクトロニクス市場においては、データセンター向けサーバー需要の増加等によるメモリ需要の拡大を受け、半導体メモリメーカーの設備投資が継続してまいりましたが、足元では需要の鈍化等により新規設備投資延期の動きが出ております。しかしながら中長期的にはスマート化社会の進展に向けた投資が活発化するものと見られます。一方、フラットパネルディスプレイ (FPD) 業界においては、テレビ用パネルの大型化、高精細化に伴う大型液晶パネル製造向けの設備投資が中国を中心として継続しました。スマートフォン向け有機ELパネルの設備投資は韓国での投資抑制はあるものの、他地域での設備投資は継続しました。

このような状況において、当第3四半期連結累計期間につきましては、受注高は1,736億38百万円(前年同期比215億93百万円(11.1%)減)、売上高は1,688億97百万円(同212億66百万円(11.2%)減)となりました。また、損益につきましては、営業利益は219億29百万円(同78億79百万円(26.4%)減)、経常利益は231億38百万円(同79億70百万円(25.6%)減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は172億72百万円(同80億35百万円(31.7%)減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

「真空機器事業」

(単位：百万円)

	2018年6月期第3四半期 連結累計期間	2019年6月期第3四半期 連結累計期間	前年同期比(増減率)
受注高	170,590	148,774	△12.8%
売上高	166,242	144,135	△13.3%
営業利益	27,406	19,552	△28.7%

真空機器事業を品目別に見ますと次のとおりです。

(FPD及びPV製造装置)

FPD製造装置の受注高は、中国を中心としたテレビ向け大型液晶製造装置やスマートフォン向け有機EL製造装置など前年同期並みの受注を計上しましたが、売上高は前年同期を下回りました。

(半導体及び電子部品製造装置)

半導体関連は、NANDフラッシュメモリやDRAM、次世代不揮発性メモリ向けスパッタリング装置・自然酸化膜除去装置などが足元のメモリ関連投資の減速を受け、受注、売上ともに前年同期に比べ低調な結果となりました。電子部品関連は、モバイル機器向け高機能デバイスやパワー半導体向け製造装置が堅調に推移しました。

(コンポーネント)

有機EL製造装置に搭載するクライオポンプをはじめ、FPD、半導体、電子部品業界や自動車関連向け真空ポンプ、計測機器が堅調に推移し、受注高、売上高ともに前年同期を上回りました。

(一般産業用装置)

自動車部品製造用真空熱処理炉や漏れ検査装置などを中心に売上高は前年並みとなりました。一方、受注高は中国における高機能磁石製造用投資の延期等もあり前年同期に比べ減少しました。

その結果、真空機器事業の受注高は1,487億74百万円、受注残高は983億29百万円、売上高は1,441億35百万円となり、195億52百万円の営業利益となりました。

「真空応用事業」

(単位：百万円)

	2018年6月期第3四半期 連結累計期間	2019年6月期第3四半期 連結累計期間	前年同期比(増減率)
受注高	24,641	24,864	0.9%
売上高	23,922	24,762	3.5%
営業利益	2,410	2,411	0.1%

真空応用事業を品目別に見ますと次のとおりです。

(材料)

主に液晶ディスプレイ用スパッタリングターゲットを中心に受注、売上を計上しましたが、韓国における装置稼働の低下等の影響を受け、前年同期を下回りました。

(その他)

マスクブランクス関連は、高精細、高機能ディスプレイや車載及び産業用半導体需要の増加を受け堅調に推移、表面分析機器関連も寄与し、受注高、売上高とも前年同期を上回りました。

その結果、真空応用事業の受注高は248億64百万円、受注残高は59億9百万円、売上高は247億62百万円となり、24億11百万円の営業利益となりました。

なお、上記金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

前連結会計年度末に比べ、23億51百万円減少となりました。主な要因は、投資有価証券が124億81百万円減少したこと、一方で、たな卸資産が45億43百万円増加したこと、繰延税金資産が27億75百万円増加したこと、受取手形及び売掛金が11億56百万円増加したこと、現金及び預金が9億85百万円増加したことなどです。

(負債)

前連結会計年度末に比べ、55億9百万円減少となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が98億55百万円減少したこと、短期借入金が25億45百万円減少したこと、一方で、長期借入金が75億97百万円増加したことなどです。

(純資産)

前連結会計年度末に比べ、31億58百万円増加となりました。主な要因は、利益剰余金が123億56百万円増加したこと、一方で、その他の包括利益累計額が91億64百万円減少したことなどです。

② キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益、減価償却費、前受金の増加などのプラス要因に対し、売上債権の増加、たな卸資産の増加、仕入債務の減少などのマイナス要因により、92億32百万円の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形及び無形固定資産の取得による支出などにより、54億29百万円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

短期借入金の減少、配当金の支払、長期借入金の増加などにより、5億円の支出となりました。

以上により、当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ、26億50百万円増加し、569億98百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年6月期の業績予想につきましては、当第3四半期に投資有価証券売却益を特別利益として計上したこと等により、2019年2月13日に公表しました見通しから親会社株主に帰属する当期純利益を上方修正いたしました。なお、売上高や他の利益項目、期末配当予想に変更はありません。

(注)この決算短信で述べている将来の当社に関する見通しは、現時点で把握しうる情報をもとに作成したものです。当社グループの主要取引先であるFPD、半導体及び電子部品業界は、特に技術革新のスピードが大変速く、かつ、競争の激しい産業です。また、世界経済、為替レートの変動、原材料価格、FPD、半導体及び電子部品の市況、設備投資の動向など、当社グループの業績に直接的、間接的に影響を与える様々な外部要因があります。従いまして、実際の売上高及び利益は、この決算短信に記載している予想数値とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	57,074	58,059
受取手形及び売掛金	87,276	88,432
商品及び製品	4,615	4,568
仕掛品	23,618	26,675
原材料及び貯蔵品	10,847	12,381
その他	9,509	7,959
貸倒引当金	△914	△512
流動資産合計	192,026	197,563
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	31,814	30,552
機械装置及び運搬具 (純額)	16,382	14,904
工具、器具及び備品 (純額)	1,839	1,933
土地	8,624	8,621
リース資産 (純額)	731	679
建設仮勘定	4,907	7,190
有形固定資産合計	64,297	63,879
無形固定資産		
リース資産	81	60
ソフトウェア	844	908
その他	2,529	2,297
無形固定資産合計	3,454	3,265
投資その他の資産		
投資有価証券	25,562	13,081
繰延税金資産	7,315	10,090
その他	6,812	9,255
貸倒引当金	△2,048	△2,067
投資その他の資産合計	37,641	30,359
固定資産合計	105,392	97,503
資産合計	297,418	295,066

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	55,566	45,711
短期借入金	21,539	18,994
リース債務	300	305
未払法人税等	4,534	2,758
前受金	16,739	19,685
賞与引当金	3,185	5,215
役員賞与引当金	512	337
製品保証引当金	1,742	1,674
受注損失引当金	1,074	1,123
その他	13,637	10,324
流動負債合計	118,829	106,125
固定負債		
長期借入金	14,150	21,746
リース債務	607	525
繰延税金負債	22	18
退職給付に係る負債	8,370	8,151
役員退職慰労引当金	272	142
役員株式給付引当金	134	136
資産除去債務	395	398
その他	568	597
固定負債合計	24,520	31,714
負債合計	143,348	137,839
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,873	20,873
資本剰余金	3,912	3,912
利益剰余金	107,238	119,594
自己株式	△266	△247
株主資本合計	131,756	144,132
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,950	6,184
為替換算調整勘定	2,579	2,062
退職給付に係る調整累計額	△1,753	△1,635
その他の包括利益累計額合計	15,775	6,611
非支配株主持分	6,538	6,484
純資産合計	154,069	157,227
負債純資産合計	297,418	295,066

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2018年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)
売上高	190,164	168,897
売上原価	132,928	118,332
売上総利益	57,235	50,565
販売費及び一般管理費	27,428	28,637
営業利益	29,807	21,929
営業外収益		
受取利息	102	133
受取配当金	370	622
持分法による投資利益	317	210
その他	1,375	1,131
営業外収益合計	2,163	2,096
営業外費用		
支払利息	276	216
その他	586	670
営業外費用合計	862	886
経常利益	31,108	23,138
特別利益		
投資有価証券売却益	2,002	1,710
持分変動利益	—	303
特別利益合計	2,002	2,013
特別損失		
減損損失	—	131
固定資産除却損	79	—
特別損失合計	79	131
税金等調整前四半期純利益	33,032	25,020
法人税、住民税及び事業税	6,429	5,892
法人税等調整額	309	865
法人税等合計	6,738	6,757
四半期純利益	26,293	18,263
非支配株主に帰属する四半期純利益	987	991
親会社株主に帰属する四半期純利益	25,307	17,272

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2018年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)
四半期純利益	26,293	18,263
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,574	△8,753
為替換算調整勘定	683	△815
退職給付に係る調整額	200	119
持分法適用会社に対する持分相当額	10	248
その他の包括利益合計	12,468	△9,202
四半期包括利益	38,761	9,062
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	37,718	8,108
非支配株主に係る四半期包括利益	1,044	953

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2018年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	33,032	25,020
減価償却費	4,840	5,158
減損損失	-	131
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	94	△306
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,762	2,038
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	36	△28
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△44	△129
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	44	2
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△511	△65
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△367	50
受取利息及び受取配当金	△472	△754
支払利息	276	216
投資有価証券売却損益 (△は益)	△2,002	△1,710
持分変動損益 (△は益)	-	△303
売上債権の増減額 (△は増加)	△15,111	△2,568
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△7,421	△5,593
仕入債務の増減額 (△は減少)	7,380	△9,645
前受金の増減額 (△は減少)	2,670	3,032
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△603	415
その他	△2,238	1,206
小計	21,365	16,165
利息及び配当金の受取額	481	1,007
利息の支払額	△277	△206
法人税等の支払額	△4,756	△7,734
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,812	9,232
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△10,628	△3,519
定期預金の払戻による収入	17,864	5,177
有形及び無形固定資産の取得による支出	△6,396	△8,706
投資有価証券の売却による収入	2,171	1,779
関係会社株式の取得による支出	△292	-
その他	165	△159
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,884	△5,429
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△4,596	△2,908
長期借入れによる収入	8,200	13,900
長期借入金の返済による支出	△9,304	△5,982
配当金の支払額	△2,464	△4,681
自己株式の取得による支出	△0	△0
その他	△1,013	△829
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,177	△500
現金及び現金同等物に係る換算差額	223	△53
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	10,743	3,250
現金及び現金同等物の期首残高	47,555	54,348
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	-	△600
現金及び現金同等物の四半期末残高	58,298	56,998

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」の適用)

米国を除く在外連結子会社において、第1四半期連結会計期間の期首よりIFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」を適用しております。

当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2017年7月1日 至 2018年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	真空機器事業	真空応用事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	166,242	23,922	190,164	—	190,164
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,994	1,312	3,307	△3,307	—
計	168,236	25,234	193,470	△3,307	190,164
セグメント利益	27,406	2,410	29,815	△8	29,807

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	真空機器事業	真空応用事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	144,135	24,762	168,897	—	168,897
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,594	1,311	3,906	△3,906	—
計	146,730	26,073	172,803	△3,906	168,897
セグメント利益	19,552	2,411	21,963	△34	21,929

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同期比(%)
真空機器事業	144,135	86.7
真空応用事業	24,762	103.5
合計	168,897	88.8

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 真空機器事業の主な品目別販売実績及び当該販売実績に対する割合は次のとおりであります。

品目	当第3四半期連結累計期間	
	販売高(百万円)	割合(%)
FPD及びPV製造装置	66,570	46.2
半導体及び電子部品製造装置	33,141	23.0
コンポーネント	26,600	18.4
一般産業用装置	17,824	12.4
計	144,135	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3. 真空応用事業の主な品目別販売実績及び当該販売実績に対する割合は次のとおりであります。

品目	当第3四半期連結累計期間	
	販売高(百万円)	割合(%)
材料	11,133	45.0
その他	13,629	55.0
計	24,762	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。